



犬・笑・暮だより vol.10

こわ～い熱中症には要注意！

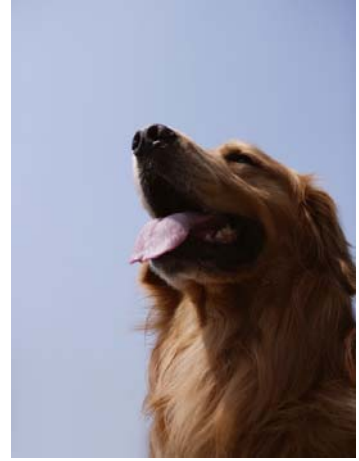


人間は身体中に汗腺があり、汗をかくことで体温調節を行っていますが、わんちゃんには、ごく一部にしか汗腺がありません。そのため、犬は総じて人間より暑さに弱い動物です。熱中症は、少しでも処置が遅れてしまうと、わんちゃんの命を奪ってしまうこともある、怖い症状です。だから熱中症は予防が第一！少しでも日差しが強く感じる季節が来たら、十分に気を配ってあげましょう。

熱中症を引き起こす主な原因

①気温の上昇 ②直射日光 ③湿度の高さ

つまり、高温多湿の日本の夏は、わんちゃん達にとっては最悪の条件です。また、①と②は比較的気づきやすいのですが、③は以外と忘れがち……。例え曇っていて日差しが強くなくても、体感温度が高くなくても、「湿度が高くてジメジメねっとり」の梅雨時特有の環境は熱中症の原因になりやすいものです。



予防方法

■お散歩

- * 日差しの強い時間帯は避ける。
- * わんちゃんは裸足です。地面の温度に注意。特にアスファルトの照り返しは、地面に近い所を歩いているわんちゃんにはとっても辛いものです (>_<)
- * 小まめな水分補給と木陰での休憩を。

■お留守番

- * わんちゃんの居場所に直射日光が当たらない工夫を。
- * 風通しを良くする。
- * いつでも水分補給できるようにしておく。
- * クーラーをかける場合は、部屋の大きさに応じて高めの温度に。冷やし過ぎには要注意。かえって、少々の暑さでも参ってしまうようになってしまいます。(>_<)

※万が一暑さでぐったりしてしまったり、熱中症になってしまったら、濡れたタオルなどで体を冷やし、とにかくすぐに獣医さんに連れて行って下さい。
 ※特に暑さに弱い犬は、老犬 / 子犬 / 鼻筋の短い犬 / 足の短い犬 / 黒い毛色の犬など。注意してね。

News & Topics

マイクロチップのおかげで
行方不明の愛犬と 8年ぶりの再会

「WORLD MINOR NEWS」によれば、米国テキサス州に住む Murphyさん一家のもとに、8年前に行方不明になった愛犬が戻ってきた。路上パフォーマーの男性が、公園をさまよう一匹の犬を発見し、動物愛護協会に通報、保護された犬には、識別用のマイクロチップが内蔵され、Murphyさん一家の愛犬と判明した。行方不明になった愛犬には、懸賞金も掛けられていたが、これまで8年間、何の音沙汰もなかったそうだ。

マイクロチップは、動物の安全で確実な個体識別(身元証明)の方法として、ヨーロッパやアメリカをはじめ世界中で広く使われ、国内では、動物の愛護及び管理に関する法律でも推進しています。埋め込みは、獣医療行為にあたるため、必ず獣医師が行います。費用は数千円程度。リーダーは、全国の動物保護センターや保健所、動物病院などに配備されています。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ!!

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

